

聖火の採火式



ギリシャで採火するオリンピックと異なり、パラリンピックでは、全国各地で火をおこす採火式（聖火フェスティバル）が行われます。

各地で採火された聖火と、パラリンピック発祥の地、イギリスのストーク・マンデビルで採火された火は、東京で一つに集められ、パラリンピックの開会式までリレーでつながれます。

県内では、26市町で採火式が行われ「岐阜県の火」が形成された後、東京へ送り出されます。

市では、工藤選手の出身地である武並町で、採火式を開催します。

式典は観覧できます。地元の声援を聖火に託して、東京に届けませんか。

採火式の観覧者を募集

■とき
8月13日(金)午後4時～4時半

■ところ
恵那スケート場

- 内容
- たき火台からトーチに点火
 - 工藤選手からのビデオメッセージ
 - 市内ダンスチームとのコラボレーション動画の放映

■申し込み
恵那スケート場ウェブサイトから申し込みが必要です。



市ウェブサイト採火式のページ



▲武並小学校で、技を披露する工藤選手（左）。「興味を持ったことや、面白いと感じたことがあったら、とことんやってみてほしい」と、子どもたちに語りました。（昨年12月）

恵那の皆さんへ



いつも声援ありがとうございます。
コロナ禍で思うように練習できず、つらい時期もありましたが、パラリンピックでは良い結果を残し、お世話になった方々や市民の皆さんに、恩返しをしたいです。
パラリンピックのテコンドー初代王者として、金メダルを恵那に持ち帰ります。ぜひ応援をお願いします。

家族の思い
本当に、本当に、多くの皆さんに支えられて今があります。事故をした頃と比べると、今は夢のようです。皆さんには感謝の言葉しか思いつかびません。応援していただいている声を力に、けがをしないよう平常心で頑張りたいです。
(母 早苗さん)

幼い頃の工藤選手
祖父や祖母にかわいがられて、外遊びの好きな元気な子でした。
小さい頃から水泳を始め、小学生の頃はテニスや野球をしていました。恵那西中学校では剣道部に、中京高等学校ではバドミントン部に所属。東京農業大学ではラクロスを楽しみむなど、体を動かすのが好きでした。
また、よく食べる子で、朝からご飯をおかわりしていました。小学校では、給食の残り物をもらおうじゃんけんに参加。勝って皆の好きなおかずをもらい、友人を悔しがらせたこともあったようです。

恩師からのメッセージ

「あの、おっとりしたしゅんちゃんが！」と驚きました。注意をしても、ニコッとされるとつい許してしまいそうになる、そんな愛嬌のある子でした。負けん気が強いというより、何にでも一生懸命取り組める子だったなあと思ひます。大舞台でも頑張ってるね。
(保育園長児担任 糸魚川純子先生)



▲小学生の頃、地域の秋祭りから帰ってきたところを自宅でパチリ。手にはすくった金魚を持っているのかな？

優しく、やるべきことはきちんとやる子でした。成人式で再会した時、大学に進学したと聞き、高校でも頑張ったんだなあと思いました。左腕のけがをした後に電話をくれたので、会って話をしました。気持ちの整理がついた後だったのか「腕がなくなって分かったことがたくさんある」「日本は良いところだ」と言っていました。苦しいことがあってもそれを乗り越えていく彼の生き方には、自分の方が教えられています。ずっと応援しているよ。
(中学校3年生担任 広瀬学先生)

パラリンピック



恵那市出身 工藤俊介

(株式会社ダイテックス所属)



応援しよう

武並小学校、恵那西中学校を卒業した生粋の恵那っ子、工藤俊介さん(27歳)。東京2020パラリンピックの日本代表です。出場種目はテコンドー。市出身の選手に地元の声援が届くよう、工藤選手とテコンドー競技を紹介します。

☎ スポーツ課 ☎ 26-2111(内線482)

目標は金メダル
代表に内定したものの、新型コロナウイルス感染症が拡大。首都圏では十分な練習ができないため、恵那に戻って練習を続けた期間もありました。そんな苦しい時期を乗り越え、約1年ぶりの試合となった3月の全日本選手権では、75kg超級と75kg級の合同級で優勝し、賞状を見せました。
7月2日、正式に日本代表に決定し、いよいよ本番を迎えます。競技を始めた時から、東京2020大会での金メダル獲得が夢でした。地元からの声援が力になるはずですが、ぜひ応援しましょう。

競技歴2年で代表に
工藤選手がテコンドーを始めたのは2018年。翌年には世界選手権で3位となります。さらに、東京パラリンピックの代表選手最終選考会となる大会で優勝し、代表に内定。競技を始めて約2年の早さでした。大学卒業後に地元恵那で就職したものの、仕事上の事故で左腕を切断。しかし、そんな自分の姿が周囲を悲しませていくと気付いた頃、テコンドーの存在を知ります。当時の揺れる思いや、日本代表までの道のりは、本年1月号の本紙「輝く恵那人」で紹介しています。
エフエム市ウェブサイト1
▲サイト1



Q3 工藤選手の試合日程を教えてください！

A
パラテコンドーは、体重と、障がいの程度で階級が分かれています。工藤選手は、75kg級K44クラス。試合は次の通りです。
9月3日(金)
■午前10時～午後3時
1回戦、準々決勝、敗者復活戦
■午後5時～10時
準決勝、3位決定戦、決勝、敗者復活戦、表彰式

Q2 どうやって勝負が決まるの？

A
八角形のコートで1対1で対戦します。2分間×3ラウンド行い、得点の多い方が勝利します。
頭部への攻撃は禁止されているため、胴体への蹴りが得点に。
選手は電子防具を着用し、蹴りが有効な部位に決まったか、十分な強さだったかを電子防具が判定します。技の難易度の判定が難しい場合は、審判が判定します。

テコンドー観戦ガイド

Q1 テコンドーってどんな競技？

A
テコンドーは、韓国を発祥とする近代武術。拳による突き、足による蹴りなどで攻撃します。
パラリンピックでは、今回から正式競技に採用されました。上肢に障がいがある選手が、華麗な足技を繰り出します。その迫力やスピードが魅力です。